



不妊治療で起こる、男性の繊細な問題に対しては、女性側に男性への配慮をお願いしています。

一般的には、不妊症は「定期的な性交渉を持ち、避妊していないにも関わらず、1年以上妊娠成立しないこと」と定義されています。

田村秀子婦人科医院では、1995年の開設以来、多くの不妊症を診て、多くの出産を連携病院で見て来ました。そこに多くのご夫婦の幸せがあります。ただ、女性側への診療が主体の中、男性側に原因がある男性不妊への配慮は、当初から感じていました。いろいろと取組みを重ねる中、今では生殖医療を行う泌尿器科との連携もしっかり築かれ、対応するとともに迅速な治療の流れができ

ているようです。

男性不妊が原因の夫婦によくみられること、そして、ご夫婦への診療で大切にしていることはどのようなことですか？

男性はこれまでにない不安を感じ、自信を失っていることもあります。不妊の原因には、男性にも女性にも、両方にあることがほとんど。

お互いを思いやり、支えあいながら、二人三脚で困難を乗り越えていく、そんなご夫婦の応援団でありたいと思っています。

男性不妊が原因の夫婦は多いのでしょうか？

初診時に、ご夫婦ともに詳しい問診を行い、女性と男性の不妊原因を同時に検査します。

男性不妊の検査は主に精液検査ですが、精子数の減少、運動率の低下などが判明するケースも多いですね。また、勃起障害や射精障害、性交障害など男性性機能障害で、通常の性交渉がもてずに外来にこられるご夫婦も増えてきていると感じます。

●男性不妊の治療方針は？

初診時、男性側にはご夫婦の性生活のことなど、口頭で伝えにくい内容に関しても問診用紙に書いてもらっています。この問診と精液検査の結果をもとに、男性の治療方針を決めていきます。

問題が明らか場合には、積極的に男性不妊専門医（泌尿器科）と協力するよう心がけています。泌尿器科の男性医師の方がより具体的に相談ができる環境に

あると考えるからです。

2015年の湯村医師らの男性不妊の調査によると、男性不妊の原因の83%は造精機能障害で、精路通過障害は3.9%、でそして性機能障害が13.5%とあり、最近性は機能障害が増加しているのも特徴のようです。女性側の排卵日の特定により、男性側が性交渉にストレスを強く感じ、新たに性機能障害が発症することもあります。このような問題に対しては、女性側に男性への配慮をお願いしているわけです。

最終的には、女性側の年齢や状況も考慮し、男性不妊専門医と連携をとり、配偶者間人工授精（AIH）、体外受精（IVF）、顕微授精（ICSI）などの生殖補助医療（ART）の治療を選択できるようしています。そして何よりも、ご夫婦がお互いの妊娠への気持ちを一つにして、治療に向き合えるよう、お手伝いできることを心掛けて診療をしています。

ご夫婦へ

不妊治療中、排卵時期だけを意識する夫婦生活となり、お互いにストレスを感じるようになっていませんか？

ご夫婦で治療のことを十分にお話できていますか？
治療が進むにつれ、会話が少なくなっていないですか？

まずはお二人で、子どもをもちたい気持ちを再確認し、共有することがとても大切です。

妊娠は一人ではできません。

相手を思いやりながら、二人三脚で乗り越える、それがご夫婦に最も大事なことだと思います。



院内の風景/左からパウダールーム、検査室、培養室、
(下段) 待合室、カウンセリングルーム

心のケアを大切にした不妊治療

不妊治療・生殖補助医療は、この10年の間に飛躍的な進歩を遂げました。体外受精や顕微授精などの技術により、今まで子どもができなかった人にも、子どもを授かるチャンスができました。しかし、技術が先行して患者さんの心の部分がないがしろにされやすいのも事実です。

不妊治療を専門を行う以上、技術が優れているのは当然で当たり前のことでしょう。でも、心の部分では夫婦2人の心

に関するデリケートな面もあります。そのケアをいかに充実させて最新の治療を行うか、私どもは治療を手がけて以来、その課題に常に注目して取り組んできました。

技術のバックアップを最大限にいかし、ご夫婦が2人で自信を持って治療に臨んでもらえるよう、カラダと心のバランス作りを大切にする、そのような診療を大切にして、今後も診療を続けていきたいと思っています。

診療の案内

案内
1

診療科目

『婦人科、美容皮膚科、アンチエイジング科』

専門外来

『不妊外来、一般婦人科外来』

美容皮膚科外来、更年期外来、アンチエイジング外来』

私たちの目指す治療には「ストレスがなく」「その人にとって最小限の治療で妊娠して頂く」ことも含んでいます。そのため、病院の設計コンセプトも「病院に来ているという感覚をできるだけなくす」ことに努め、皆様が肩の力を抜いて通院して下さるよう、婦人科・不妊外来、生殖補助医療にも、女性が生き生きとキレイに暮らせるサービスなども広く行っています。

案内
2

診療時間

診療時間 / (AM) 9:30~12:00
(PM) 13:00~15:00
17:00~19:00

休診日 / 土曜午後・日祝祭日

詳細は、HPなどでご確認ください。

お勤め帰りに、そして都合をつけていただきやすいよう、午後の5時から7時までの診療時間を設けています。通院に関すること、アクセスや病院情報、医師の情報、ブログなどの詳しい情報は、ホームページをご覧ください。

自動診察受付装置



田中 紀子 副院長

Profile プロフィール

京都府立医科大学産婦人科学教室研修医を経て、大学の関連病院産婦人科に勤務。京都府立医科大学大学院にて、子宮内腺症や生殖内分泌に関連する遺伝子の研究を行った。その後、アメリカのコネル大学医学部 不妊・生殖医療センターに客員研究員として、ヒトのICSIの妊娠分娩報告を世界最初に発表したバレルモ博士の下で、精子や卵子の元となる幹細胞の研究を行った。

帰国後、扇町レディースクリニックに勤務。
平成20年2月 田村秀子婦人科医院に着任。

<京都府立医科大学医学部 卒業
・医学博士・産婦人科認定医・生殖医療専門医>



田村秀子婦人科医院

〒604-0825 京都市中京区御池高倉東入ル御所八幡町229

TEL: 075-213-0523 URL: <https://tamura-hideko.com/>